

背景と目的

- ・気候変動の影響により、集中豪雨や異常気象等に起因する災害等が世界的に増加しており、特に開発途上国の山地流域は、影響を受けやすいとされています。そのため、山地流域の経済基盤である森林や農地において、森林を含む生態系を活用した持続可能な山地流域強靱化手法の開発の重要性が高まっています。
- ・本事業は、開発途上国の山地流域における災害等のリスクを把握し、森林等の生態系を活用した、地域で適用可能な防災・減災技術と生計向上に資する取組の開発及び普及を目的としています。

主な活動内容

- ・ペルー及びフィリピンの山地コミュニティを実証地として、山地流域における社会経済的及び環境的条件に基づいた課題分析及び戦略策定、関連する政府機関との連携による地元住民を対象とした防災・減災に資する農林業のあり方の特定、実践のための制度的及び技術的な能力開発等を目的としたワークショップの開催及び技術支援を実施。
- ・政府機関、地域コミュニティ、環境団体の協力のもと、アグロフォレストリー等の持続可能な農林業の取組とアグリツーリズムを促進。
- ・実証地における成果及び経験を共有し、優良事例を普及するため、各実証地の担当者が参加するワークショップを開催、また、山地流域における気候変動による影響に対する強靱化に資する優良事例等をまとめた出版物の作成及び国際会議等での発信を実施。

事業成果

- ・生態系を活用した防災・減災の考え方に符合し、我が国の有する技術である治山対策をはじめとした森林の機能の維持・向上のための技術を世界的に普及させることに貢献しました。
- ・山地流域における持続可能な森林管理、生態系を活用した災害リスク軽減策の実践を通じ、現地政府機関や自治体、地域コミュニティ参加による防災・減災のための技術普及及び能力向上に貢献しました。
- ・持続可能な農林業等の実践により、実証地の地域住民に新たな長期的収入を生み出し、山地流域の経済的脆弱性を軽減することで、災害等の外的リスクに対する強靱化に貢献しました。



林業技術の普及／優良苗木生産（ペルー）

Source : Food and Agriculture Organization of the United Nations. Reproduced with permission.



GIS研修ワークショップ（フィリピン）



実証地の担当者による成果及び経験を共有するためのワークショップ